



編集・発行  
福江中学校  
PTA 広報委員会



感  
〇  
教頭  
森下 正敏

「・・・御理解と御協力をお願いいたします。」今年は、例年以上にPTAの役員・委員の方をはじめ、保護者の皆さんには何度となくお伝えしたフレーズです。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、さまざまなお願いをしました。PTA総会の書面開催、出発式の中止、部活動懇談会の中止、夏季休業の短縮、一学期保護者会の延期、体育大会や合唱祭の参観制限、職場体験学習の中止・・・挙げればきりがありません。御家庭にさまざまな我慢を強いるものであったかと思えます。御理解いただき本当に感謝です。

PTA役員・委員の皆さんは、このような状況であるからこそ、いつも以上に保護者の皆さんの声に耳を傾け、新たな動きを始めました。その一つが、「合唱祭の様子を知りたい」という要望に応じた合唱祭のDVD化です。例年にない新しい活

動というのは、とてもたいへんなことですが、それを実現化する推進力に感服です。そして、いつもならできていたことができなくなっても悲観することなく目の前のことに精一杯取り組む生徒・・・感動です。

先日、福江高校が発行している「福高ニュース」に、企業が求める人材について次のように書いてありました。「以前、企業のアンケートで『企業の求める人材は?』という質問があった。『明るく元気で前向きな人』、『健康な人』などよくある回答もあったが、それらの回答よりも目に留まったのは、『成功を収めたことがある人物』と『失敗を乗り越えたことのある人物』であった。・・・」

コロナ禍の生徒は、今までに直面したことのない困難な状況にも順応し、たくましく乗り越えています。まさにこの姿は企業が求める姿勢です。今の学校教育のピンチをチャンスにすべく、これからも今までの学習や行事等を再検討し、カリキュラム改革を進めます。御理解と御協力をお願いいたします。



本年度のPTA  
活動について  
PTA副会長  
山本 達弥

PTA副会長を務めるようになってから、八ヶ月が過ぎました。昨年度、伊良湖岬中学校が福江中学校と統合しました。最初のPTA全体委員会では、役員と委員を合わせて三十名が出席しました。今となっては、その参加者の数の多さに驚いたことが思い出されます。

本年度のPTA活動はコロナ禍の中で始まりました。そのため、例年行われる行事の多くが相次いで中止になりました。現状としては、限られた活動のみに取り組んでいます。

学校生活では、生徒たちの思い出となる多くの行事が変更や中止になり、先生たちも大変苦労をされたと思います。PTAとしてもできる限り協力をして、この難局を乗り越えていきたいです。この状況で思い返すのは、何気ないありふれた日常生活ではないでしょうか。

この福江中学校区では、学校と地域が密接につながっており、生徒と地域住民が触れ合う機会がたくさんあります。最近では、「サンキュー☆福江」という行事が実施されま

した。生徒たちは、出身小学校区へ出向き、地元の人々と協力してボランティア活動に取り組みしました。各地域のイベントやお祭りが、新型コロナウイルスの影響で、中止や自粛を余儀なくされました。そんな今だからこそ、改めて地域と生徒たちの関わりの深さを感じました。

先日、テレビでサンタクロースに扮した人々を集めた海外のドキュメンタリー番組を見ました。子どもたちはプレゼントを受け取り満面の笑みを浮かべていました。帰路につくサンタクロースに力一杯手を振る姿がとても印象に残っています。その際、子どもたちは誰一人としてマスクを着用していませんでした。その番組は再放送であり、新型コロナウイルスが猛威を振るう前に放送されたものでした。

現在の学校生活において、マスク着用が当たり前となりました。子どもたちの笑顔を見ることができるといふありふれた日常が再び戻って来ることを願っています。そのために、一人一人が感染防止に努めていく必要があります。

PTAの任期も残りわずかとなりました。これからも生徒のために行えることをPTA役員・委員と協力して考えていきたいです。

# 父母の声

今を楽しむ！

一年保護者 藤井 英成

本年度、福江中学校のPTAを務めてみて、とてもはがゆい一年となりました。PTA活動はコロナの影響で予定していた行事が中止や縮小という事態になりました。

みんなで知恵を出し合うことで体育大会や合唱祭は何とか開催することができました。合唱祭では、どの学級も素晴らしい歌声を響かせ、練習の成果を発揮することができ、とても感動しました。

中学校生活は、三年間と短いですが心を成長させるのにとっても大切な時間です。その三年間を仲間たちと切磋琢磨しながら過ごしてほしいです。時には大きな壁にぶつかることもあるはずでしょう。その場合は、猪突猛進（向う見ずに突き進むこと）ではなく、雲外蒼天（困難を乗り越え、努力して克服すれば快い青空が望めること）の心で、楽しく頑張っしてほしいです。

## 福中一致団結

二年保護者 小久保 和也

感染症予防をしながら、日常生活を送る「ウイズコロナ」の時代に突

入しました。子どもたちもようやく中学生らしい生活を送ることができるようになりました。

「転んでしまうかも…」と密かに心配していた体育大会のリレーや候補曲を出し合ったPTA職員合同合唱は残念ながら中止となりました。そのため、我々父母の出番はありませんでした。子どもたちが楽しむことができたのは何よりよかったです。

中学校三年間はあつという間に過ぎてしまいます。当たり前の日常への感謝の気持ちを忘れずに、充実した学校生活を送ることができるよう切に願っています。

## 休日の過ごし方

二年保護者 柳原 美沙

コロナによるステイホームが推奨され、ますますゲームや昼寝をして過ごす休日が増える懸念がありました。そんな中でも「水着ある？海水浴行くで。」や「ラケットある？バドミントンやるで。」と元気な声がよく聞こえてきます。

私の心配をよそに、子どもは海水浴、釣り、テニス、バドミントンなどをして体を動かし、友達と遊ぶ分には楽しんでます。生活様式が変わりつつある今日です。このコロナ禍でも、外で遊んだり、友達と関わりつつある姿を見ることができ、安心していられます。

## 母校のためには

三年保護者 原 由行

PTAとして三十年ぶりに母校へ戻ってきました。当時の思い出が蘇り、懐かしく感じています。

本年度は、コロナ禍の影響で本格的な学校再開が五月下旬になり、授業の開始が大幅に遅れました。また、学校行事やPTA活動が、縮小や中止になり、異例の一年となりました。その中でも、体育大会、合唱祭、修学旅行が無事に行うことができたことはとてもよかったです。

PTA活動を通して、二つ気付いたことがあります。一つ目は通学路についてです。大雨が降るとテニスコートと木工所間の道が水没してしまいます。そのため、その道を使う徒歩通学の生徒は靴が汚れてしまいます。危険な通学路がないかしっかりと確認し、修繕するべき箇所があれば早急に対処する必要がありますと感じました。

二つ目は、学校に資源回収コンテナを設置することです。その資源回収で得たお金で学校に必要な物品を購入することはどうだろうかと考えました。

今後も気付いたことがあれば、PTA活動で話していきたいです。

# 体育大会

コロナ禍における体育大会

三年保護者 小久保 志のぶ

新型コロナウイルス感染症により、行事はことごとく中止となり、体育大会が開催できることを心配していました。先生方が、テントの増設、競技の短縮、応援の制限などの感染症対策を講じてくれたおかげで無事開催することができました。当初はPTAも体育大会に参加する予定でしたが、中止となりました。少し残念な気持ちにはなりましたが、開催ができただけでも感謝の気持ちでいっぱいです。

リレーや長縄跳びでは、一つの目標に仲間と共に頑張り楽しむ子供たちを見て成長を感じ、とても嬉しい気持ちになりました。また、自分の中学生の頃を思い出し、子供たちの若さ、そしてこれから先の可能性を羨ましく感じました。

コロナ禍ということで、当たり前のことが制限される状況となりました。改めて体育大会が開催できることの喜びを実感することになりました。来年はコロナウイルスが終息し、例年通りの体育大会が開催できることを心より願っております。

# 合唱祭

## 思い出に残る合唱祭

三年保護者 水野 亜由美

今年の合唱祭は、新型コロナウイルスの影響により渥美文化ホールの収容人数を制限し、学年ごとに分けて二日間で開催しました。三学年全ての合唱を聴いたり、Fステを視たりすることができず、とても残念に思いました。

三年生の合唱コンクールでは、学級紹介から気持ち伝わってきた、どの学級も素晴らしく、胸が熱くなりました。今年度は、感染症対策を取りながら合唱練習をしなければならず、なかなか思い通りに練習できなかつたことでしょうか。

実際に各学級の合唱を聴いてみて、学級紹介者、指揮者、伴奏者、そして合唱する皆さんが心を一つにして練習に取り組んでいたことが伝わってきました。きつと合唱コンクール当日に最高のパフォーマンスを発揮することができたと思います。

最優秀賞の発表では、ちよつとしたアクシデントがあり、笑いもまたよい思い出として心に残っていくことでしょうか。来年は、通常通り行えることを願っています。

# 生徒の声

## 全力を尽くすことができるクラスを目指して

一年三組 杉浦 琉唯

体育大会では、応援合戦の練習を通して、「全てに全力を尽くすことができるクラス」にしたいと考えていました。初めての応援合戦だったので、曲決めから時間がかかりました。さつそく替え歌や振り付けを考え、練習を始めるとみんな全く声が出ませんでした。

しかし、繰り返し練習するうちに声が出るようになりました。最優秀賞を目標に、決められた練習時間だけでなく、昼休みも声をかけあつて全員で一斉懸命練習をしました。振り付けを教え合つたおかげで、みんなができるようになりました。最終的に大きな声を出したり踊りを揃えたりすることを意識して、まとまりのある応援に仕上げることでできました。その結果、自信がつき、当日は今まで一番よい演技ができました。

最優秀賞がとれたのは、みんながやる時は集中してやり切り、団結して、練習に一生懸命取り組んだからです。この経験を通して、より団結力のあるHappy Friend Foreverなクラスになったと実感しています。

## 不安からうれしさに変わった 福江高校体育大会

二年二組 清田 美穂

福江高校の体育大会には、長縄の種目に参加しました。練習では、なかなか上手く回せず、みんながひっかかってしまいました。どうしたらみんながひっかからずに跳べるのかを友達と一緒に考えました。大きく回してみたら跳べるようになったので、この方法で頑張ろうと思えました。

当日は不安な気持ちでいっぱいでした。しかし、「せーの」と息を合わせて縄を大きく回したら、最高記録が出ました。今までがんばつてきてよかったと思えました。

高校生はみんな声をかけ合い、とても団結していました。長縄以外の種目の時でも、選手の名前が呼ばれたあとや走っているときに、コールをメガホン変わりに大きな声で応援していても盛り上がっていました。男女の仲もよさそうでした。色とりどりのクラスTシャツもかわいかったです。

高校の体育大会に参加できることはめつたにない機会なので、本当にいい思い出になりました。貴重な経験ありがとうございます。

## 最後の合唱コンクールを終えて

三年三組 小久保 敬太

僕は今回、初めてパートリーダーを担当しました。技術的なアドバイスが何も分からず不安でしたが、同じパートの人たちが真剣に練習に取り組んでくれたので安心しました。パートの人達には感謝しかありません。

本番では、今までにないほど緊張しました。しかし、練習で意識してきたことを思い出し、正しい音程で歌うことができました。何度も練習をすることができました。何度も練習をすることができた合唱ができたのでよかったです。

クラス全体をふり返ると、最初の頃は、上手くハーモニーをつくりあげることができませんでした。しかし、本番の合唱はとてもまとまりのある合唱ができたと思います。それだけ、クラスの団結力が高まつたのだと思います。初めて最優秀賞をとることができたので、素直にうれしいです。

そしてそれ以上に、三年三組のみならず合唱ができたことが本当によかったです。



# 部活動の様子

## 礼儀を重んじ、みんなで勝つ

### 男子テニス部

部員三十七名はチーム全員で勝つため、日々練習に励んでいます。秋の新人戦では、見事、準優勝を勝ち取りました。新チームは、キャプテン・副キャプテンを中心に、「全員で強い」と誇れるチームを目指しています。限られた練習時間を最大限に生かし、これからも勝てるようチームで精進します。



## 輝勝から強輝へ

### 女子テニス部

新チームになり、スローガンが「輝勝」から「強輝(つよき)」になり、部員全員で技術面や精神面を強くし、勝って輝こうと、日々練習に励んでいます。新人戦では思うような結果が出ず、悔しい思いをしました。この悔しさをバネにして、日々の練習から強く輝けるように、一球一球打っていきます。



## これぞ、部活動!

### 男子バレーボール部

新チームのスタートは例年よりかなり遅くなりました。練習時間が少ない中、部員たちの「少しでも上達しよう」「試合で勝ちたい」というあきらめない姿に感心しました。バレーボールができる喜びを全員で分かち合い、日々練習に励む姿こそ、部活動で一番大切なものではないのかと思います。これからもひたむきにボールを追いかけて続けましょう。



## 謙虚に、誠実に

### 女子バレーボール部

新人戦では、惜しくも敗れてしまいましたが、春や夏にリベンジできるように、チームで新しい戦術に積極的に挑戦したり、個々で必要な技能を分析したりして、自主的に練習しています。バレーボールの技能だけでなく、挨拶や礼儀・マナーなど、人間的にも成長できる部活動を目指しています。



## チーム福中

### 駅伝部・陸上競技部

駅伝部は、部活動を引退した三年生を中心にさまざまな部から集まったメンバーで構成されます。夏休みから駅伝大会に向けて練習に取り組みましたが、残念ながら今年の東三河駅伝大会は中止となりました。陸上競技部は、一・二年生が東三河新人陸上大会に参加し、多くの生徒が自己記録を更新するなど活躍しました。



## 中高連携部としてスタート

### バドミントン部

バドミントン部は、今年度より設立された中高連携部活動です。土曜日を中心に、福江高校の体育館で、福江高校バドミントン部の生徒とともに切磋琢磨しながら練習に励んでいます。昨今の事情により、愛知県新人大会(バドミントン部の新人戦は県大会からスタート)が一月に順延されていますが、大会に向けて一人一人が真剣に練習に取り組んでいます。応援よろしくお願います。



## 一音入魂

### 吹奏楽部

多くの方々のご協力により、第二十回ドリムコンサートを無事に終えることができました。イルミネーション点灯式で、一年生は初めての舞台を経験しました。今後は、素敵なステージにするために良い音色や様々な演出を研究していきます。現在、アンサンブルや個人重奏の大会に向けて練習をしています。周りを見て自分から動き、演奏だけでなく、行動も輝けるように、日々活動しています。



## 一筆入魂

### 美術部

美術部では、入学式・卒業式などの看板制作や個人制作を中心に活動しています。今年度は三年生の部活動引退式で六mの横断幕二枚を制作しました。部員同士の意見を交流させることで多様な考えに触れ、作品制作に生かしています。今後にもチャレンジできる美術部を目指します。

